

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	2	
事業名	敬老経費		会計	款	項	目
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために		一般	3	1	2
施策	3-3 高齢者福祉の推進		課名	健康長寿課		
			係名	高齢福祉係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	75歳以上の高齢者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	地域で長寿を祝うとともに地域コミュニティを推進することにより、高齢者の福祉の増進が図られ、高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも健康で生きがいにあふれた生活を送ることができる。
事業内容	敬老事業・・・敬老行事を自治会で開催した際の経費及び地域見守りのための状況把握を行う経費に対し、補助金を交付する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			5,385		5,794		0		
財源内訳	直接事業費 A		3,801		4,276		0		
	うち一般財源		3,801		4,276		0		
人件費 (千円) B			1,584		1,518		0		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.24	1584	0.23	1518	0	0	
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	Ⅲ 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	敬老事業補助金については廃止を決定したが、敬老に資する事業については必要であり、別の方法で敬老に資する事業を検討する必要がある。	③取組の課題	敬老事業補助金については方向性が決定したが、長寿者のお祝い事業については引き続き近隣市町の状況も把握し、見直し等の検討をする必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	敬老事業補助金については廃止するが、自治会として地域づくりのために必要である場合には新しい交付金の対象とできることを説明した。また、高齢者の外出を促進するため「おでかけ元気バス事業」を開始した。	④今後の改善計画	敬老事業補助金については廃止となるが、敬老に資する事業について別の方法を検討する。おでかけ元気バス事業の内容拡充に努める。